

国の機関等による向こう5年間の国際会議等の北海道開催計画（令和4～令和8年度）

	年度	会議名	主催者	開催時期	開催場所	会議の概要	参加人数
1	R4	「北太平洋溯河性魚類委員会 (NPAFC) 第30回 年次会合」	NPAFC（北太平洋溯河性魚類委員会）	令和4年5月16日～20日	函館市	条約水域（北緯33度以北の北太平洋の公海）における溯河性魚類の保存を目的とし年1回我が国を含む、各条約締約国が持ち回りで開催し、条約水域内における取締活動や科学調査協力について協議。	200名程度
2	R4	COMODIA 2022 - The Tenth International Conference on Modeling and Diagnostics for Advanced Engine Systems	日本機械学会	令和4年7月5日～8日	札幌市	内燃機関における基礎から応用にわたる話題について、産学の研究者が世界各地から集って討論を行う。	200名程度
3	R4	2022年度夏期シンポジウム	北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター	令和4年7月7日～8日	札幌市	スラブ・ユーラシア研究センターで毎年度開催する国際シンポジウム。	30名程度 (未定) 一部オンライン
4	R4	ロシア文学におけるメロドラマ国際会議(未定)	北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター	令和4年8月1日～2日	札幌市	ロシア文学におけるメロドラマの国際会議。	未定
5	R4	29th International Conference on Low Temperature	第29回低音物理国際会議組織委員会、日本物理学会、日本学術会議	令和4年8月18日～24日	札幌市	3年に一度開かれる、物理学分野において最大規模の国際会議。	1,000～ 1,500名程度
6	R4	The 9th GCB Biomedical Science and Engineering Symposium	北海道大学大学院医学研究院医理工学グローバルセンター	令和4年8月20日～21日	札幌市	北海道大学とスタンフォード大学が共催する国際シンポジウム。国際的な医学物理学・放射線腫瘍学・放射線生物学・画像診断学等の研究者による講演及びディスカッションを行う。	50名程度 (300名程度)
7	R4	国際会議 Localisation 2022	北海道大学	令和4年8月25日～30日	札幌市	不規則量子系における局在現象に関する国際会議。	100名程度
8	R4	第6回日本-スイスバイオメカニクスワークショップ The 6th Japan-Switzerland Workshop on Biomechanics	一般社団法人 日本機械学会 バイオエンジニアリング部門	令和4年8月31日～9月3日	亀田郡七飯町	日本、スイス両国の研究者と大学院生が4日間にわたり同じホテルに宿泊し、最新の研究成果の発表と討論、情報交換を通して高密度な研究交流を行う。	100名程度

	年度	会議名	主催者	開催時期	開催場所	会議の概要	参加人数
9	R4	L-functions and Motives in Niseko 2022	北海道大学、千葉大学	令和4年9月7日～12日	虻田郡ニセコ町	L関数とモチーフを中心とする数論幾何学に関する研究集会。	40名程度
10	R4	THE ICSSPE' S BIENNIAL WORKING Programme: Cross-Cultural Approaches to Sustainable Development Goals and Greening Sport	北海道大学大学院教育学研究院	令和4年9月10日	札幌市	ICSSPE 国際スポーツ科学・体育協議会 2022-2023 採択プログラムおよびISHPES 国際体育スポーツ史学会 後援 (HIS G005関連国際シンポジウム) 国際シンポジウムテーマ: SDGsと野外スポーツ実践・伝統スポーツの知に関する文化横断的探究。	70～100名程度 一部オンライン
11	R4	第22回真空に関する国際会議	公益社団法人日本表面真空学会、日本學術会議	令和4年9月11日～16日	札幌市	「未来の環境・エネルギー問題に挑戦する表面・真空科学」をメインテーマとして、非蒸発型ゲッターポンプ、環境問題解決にむけた表面反応研究、2次元物質の合成と物性、ナノ粒子合成と触媒機能、高密度プラズマ反応の解析と応用、半導体ヘテロ界面の合成と光機能等を主要題目として、研究発表と討論が行われる予定。	1,950名程度
12	R4	THE 22ND INTERNATIONAL VACUUM CONGRESS IVC-22	公益社団法人日本表面真空学会	令和4年9月11日～16日	札幌市	真空に関する科学・技術の応用の国際連合 (IUVSTA) からの委託により、1958年の第1回以降3年ごとに主催国を変更して開催されている真空関係で世界最大の国際会議。	1,000名程度 (状況により変動)
13	R4	17th ANNUAL MEETING of the Slavic Linguistics Society (SLS-17)	北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター	令和4年9月19日～21日	札幌市	スラブ語研究の国際会議。	未定
14	R4	3大学国際シンポジウム	小樽商科大学	令和4年秋	小樽市	忠南大学校 (韓国) 及び東北財経大学 (中国) の3大学と持ち回りで開催する国際会議。	50名程度
15	R4	2022年度冬期シンポジウム	北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター	令和4年12月14日～16日	札幌市	スラブ・ユーラシア研究センターで毎年度開催する国際シンポジウム。	未定
16	R4	ISO/TC215札幌会議	一般社団法人医療情報システム開発センター、日本産業標準調査会	令和5年1月8日～13日	札幌市	保健医療システムのすべての側面を支援し、利用可能にするための保健医療に関連するデータ、情報及び知識の獲得を容易にするための保健医療情報科学分野の標準化に係る国際会議。	100～150名程度
17	R4	HPB winter meeting 2023 in Hokkaido	北海道大学大学院医学研究院消化器外科学教室Ⅱ	令和5年2月1日	虻田郡ニセコ町	胆道・膵臓外科に関する内視鏡外科/ロボット支援手術に関して検討。	80名程度

	年度	会議名	主催者	開催時期	開催場所	会議の概要	参加人数
18	R5	低温の化学と物理に関する国際研究会 Conference on Physics and Chemistry at Low Temperatures	CPLT Committee	令和5年7月上旬	北海道	低温下における原子や分子の化学・物理的現象に関する研究会。	80名程度
19	R5	FHS International Conference	北海道大学大学院保健科学研究院	令和5年夏～秋	札幌市	海外の研究者の招待講演及び大学院生のポスターセッションをメインとする国際シンポジウム。	250名程度
20	R5	第22回発達性ディスレクシア研究会	発達性ディスレクシア研究会	令和5年9月	札幌市	発達性ディスレクシア研究会の年次大会であり、北海道大学が事務局を担当する。英国からのスピーカーによる招待講演が行われる予定。	100名程度
21	R5	第26回北海道大学-ソウル大学校ジョイントシンポジウム	北海道大学	令和5年10月頃	札幌市	韓国ソウル大学校と毎年交互に主催者となり開催する全学規模の国際研究シンポジウム。複数分野の研究者、大学院生、職員の交流を促進するもの。	300名程度 (200名程度)
22	R5	International Microprocesses and Nanotechnology Conference	応用物理学会	令和5年10～11月	札幌市	先端半導体プロセス技術とナノテクノロジーを中心とし国内外の研究者で議論。同様の姉妹会議が、米国、欧州でも開催されている。	400名程度
23	R5	日中冬期道路交通ワークショップ	(一社)北海道開発技術センター、(共催：(国研)土木研究所寒地土木研究所)	令和5年度内(時期未定)	道内(開催市は未定)	日本及び中国北部地域の冬期道路交通に関する技術や研究開発の情報交換、技術支援等の技術及び研究交流を目的	60名程度

※ このほか、向こう5年間(令和4～8年度)に、北海道で開催する可能性のある国際会議等が27件ある。

※ 1～3は令和4年7月26日現在において開催済み。

出典：国土交通省北海道局調べ

注1：国の機関等とは、各省庁、地方支分部局、各省庁が所管する独立行政法人、特殊法人などのことを指す。

2：本資料の「国際会議等」は参加者総数10名以上、参加国数は日本を含む2カ国以上を対象としている。

3：()はオンラインでの参加人数